

看護師のレベル0 インシデントにおける報告行動を起こす内的要因の研究について

この度海老名総合病院看護部では入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただきます。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当医師にご連絡ください。

1. 研究目的

自発的に報告行動を行う看護師の要因を調査することで、看護師におけるレベル0 インシデント報告行動の促進への示唆や、延いては医療安全対策推進の一助を得ること

2. 研究方法

研究対象：レベル0 インシデント報告について関心がある看護師や、日頃からレベル0 インシデント報告をあげている看護師

研究期間：2024 年 5 月～2026 年 3 月

1) 研究方法

対象者のリクルート方法：各部署に対して研究協力依頼書（添付資料 1）を配布し、自薦を募る。また各部署長と安全推進者に対して研究協力依頼書（添付資料 2・添付資料 3）を配布し、研究対象者の推薦を依頼する。さらに 対象者を得るため機縁法を用い、研究協力者より研究対象者の推薦を依頼する。

データ収集方法：本研究は、レベル0 インシデント報告行動における研究参加者の内面にある思いを探索するために、質的記述的研究で行う。研究者が作成した半構造化インタビューガイド（添付資料 4）を用いて面接調査を 1 人につき 45 分～60 分程度で実施する。

分析方法：インタビュー内容を録音したテープから逐語録を作成し、記録したデータからレベル0 インシデント報告行動の内的要因に関する内容を抽出してコード化し、類似した意味を持つコードをまとめ、カテゴリー化を行う。

2) 研究成果の公表

研究終了後、本研究から得られた成果を国内外の学会にて発表、論文化により公表

3. 試料・情報

4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。

データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスは ID・パスワード等、適切に管理しています。

収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。

5. 本研究責任者およびお問合せ先

本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますようお願い致します。

施設名 : 海老名総合病院

住所 : 神奈川県海老名市中央 4 丁目 16-1

電話 : 046-233-1311

研究責任者 : 看護部 渋谷恵理